

2023年11月13日

報道関係各位

夕張ツムラと岩手県障がい者就労支援施設 連携による薬用作物生産開始のお知らせ

地域振興や新たな障がい者雇用の創出へ

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）のグループ会社である株式会社夕張ツムラ（本社：北海道夕張市、以下夕張ツムラ）が、岩手県の障がい者就労支援施設と連携した薬用作物の生産を開始することをお知らせいたします。

今回の連携は、当社グループの第1期中期経営計画の戦略課題の一つである「組織資本・人的資本による価値の創造と働きがい改革の推進」の実現に向けた取り組みの一環であり、本連携を通じて、地域振興や新たな障がい者雇用の創出に向けた薬用作物生産事業を進めてまいります。

1. 当社グループの取り組み

当社グループでは、「組織資本・人的資本による価値の創造と働きがい改革の推進」の実現に向け、「ダイバーシティ&インクルージョン」を推進しております。性別、年齢、国籍、障がいの有無などに関わらず多様な人財を迎え入れ、個性を尊重し合い、社員一人ひとりの能力が最大限発揮されることによるイノベーションの創出、企業価値の向上を目指しております。

当社グループでは、主力事業である医療用漢方製剤の市場拡大に対応するため、漢方製剤の原料となる生薬の安定調達を目指しており、日本国内では主に北海道、岩手県など6つの拠点から生薬を調達しております。

2009年に北海道に設立した夕張ツムラでは、障がい者や高齢者の自立就農支援を通じた農福連携による薬用作物生産に取り組み、北海道内で「ソヨウ」^{※1}などの栽培の他、

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、山田

〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 shuzai@mail.tsumura.co.jp

乾燥後の一次選別工程^{※2}を委託しております。また、昨年は青森県八戸市でも「センキュウ」^{※3}の栽培を通じた農福連携を始めました。

※1 ソヨウ（生薬名：蘇葉）

シソ科のシソの葉および枝先を乾燥したもの。風邪や不安症を主訴とする漢方処方に配剤。

※2 一次選別工程

異物や不良品を除去するなどの加工を施すこと。

※3 センキュウ（生薬名：川芎）

セリ科のセンキュウの根茎を加工したもの。冷え症など婦人科疾患の改善を目的とした漢方処方に配剤。

2. 岩手県の障がい者就労支援施設との事業内容

本連携は、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会が実施した 2022 年度農福連携セミナーをきっかけに開始され、同協議会の農福連携コーディネーターに支援いただいております。夕張ツムラの東北事業部岩手事務所（岩手町）が薬用作物の種苗提供や生産指導を行い、岩手県の障がい者就労支援施設 3 団体（社会福祉法人みやま会 就労継続支援 B 型事業所「1」、社会福祉法人八幡平市社会福祉協議会 就労継続支援 B 型事業所「ポパイの家」、合同会社 mam's hug 就労継続支援 A 型・B 型事業所「きゅっと。」）にて、センキュウやカノコソウ^{※4}といった薬用作物を栽培してまいります。品質基準を満たした薬用作物は、夕張ツムラが全量買い取りし、当社漢方製剤の原料生薬として使用いたします。

※4 カノコソウ（生薬名：吉草根）

オミナエシ科のカノコソウの根および根茎を加工後、鎮静を目的とした生薬製剤に配剤。

3. 今後の展望

当社グループの戦略課題である「組織資本・人的資本による価値の創造と働きがい改革の推進」の実現に向け、本連携を通じて薬用作物生産事業が地域振興や新たな障がい者雇用の創出につながるよう取り組んでまいります。

以上